

## 国語科「 古典 B 」授業実践紹介

授業者：荒木 喜子

学 年：3年 普通科

単元名：『源氏物語』映画化企画

### 単元のねらい

- 1, 進路実現に向けて、ポジティブなアピールを根拠を持ってできる能力、態度を養う。  
(何が何でもアピールできる力を身につけて、面接で活かす。)
- 2, 『源氏物語』の登場人物を現代の俳優に置き換えることによって、親しみを抱き、古典の魅力を考える機会とする。
- 3, 同じ興味関心をもった生徒どうしでのグループ活動によって、自己の役割を見つけ、協同的・主体的に課題に関わる姿勢を育てる。(みんなと協力して、自分から進んで活動をする。)

### 授業の流れ

- ①『源氏物語』のうち、3つの物語の中を「映画にするなら」という視点で読み、キャストやその物語、登場人物の魅力を考えながら1つ選ぶ。選んだ章段によってグループ分け。  
(A 雨夜の品定め B 夕顔との出会いと別れ C 車争い)
- ②漫画で選んだ章段の原文(『日本古典文学大系』一部抜粋)のプリントを、グループで音読する。  
メンバーと協力して他の資料も用いながら要約をする。
- ③グループで役割分担を決め、キャストを決定する。  
必ず、作品の魅力と読み取った人物像を説明できるように取り組む。
- ④グループでプレゼンテーションの原案と発表原稿をワークシートで考える。
- ⑤パワーポイントと発表原稿をパソコンで作成する。
- ⑥評価ルーブリックを確認して発表練習をする。
- ⑦発表会
- ⑧ふりかえり

### 発表評価のルーブリック (一部)

	A	B	C	D
作品や作者への理解	既習事項だけでなく、新たに調べたことを取り入れ、自身のプレゼンの強みとなっている。	既習事項を上手くまとめてプレゼンに組み込むことができている。	作品の基本的な事項を羅列しただけである。	作品と作者名を挙げているだけである。
物語の魅力が伝わる	物語の概要をわかりやすく伝え、その面白さや目玉となる場面をきちんと伝えている。	魅力や面白さを中心に伝えているが、物語の概要はいまいちである	物語の概要をわかりやすく伝えているが、グループなりの魅力や面白さが伝わらない。	概要も魅力もよくわからないところが多い。
登場人物の魅力が伝わる	人物の紹介をわかりやすく行い、その人物の魅力や良さをきちんと伝えている。	人物の魅力や良さを中心に伝えているが、人物の紹介はいまいちである。	人物の紹介はよくできているが、グループなりに読み取った人物の魅力や良さは伝わらない。	人物の紹介も魅力も伝わらないところが多い。
キャストの妥当性	資料から読み取った内容を元に、明確な理由とともに配役できている。			妥当性の見当たらない配役である。

### 単元を通して身についたこと (生徒のふりかえりより)

「みんなで協力すれば乗り越えられることがわかった。苦労したけど、**みんなで必死に読んで考えて話し合っていく**と、最終的には楽しくプレゼンテーションをすることができた。」

#### →仲間と協力しようとする姿勢

「**リーダーは誰とチームになっても仕事を平等に振り分けて、みんなの意見を引き出しながら**作り上げることが大切だと思った。誰か一人の成果ではなく、みんなの協力で作ることができた。」

#### →リーダーとして必要な力

「源氏物語の登場人物を今の俳優や芸能人で考えることによって、**人物の感情や文化により親近感を覚え**ながら、物語を考えることができた。」

#### →古典への興味・関心

## 実践の背景

本実践は1学期中間考査までの全9回の『源氏物語』「若紫との出会い」の読解を行ってから、1学期期末考査までの全10回の授業をかけて実施したものである。発表評価のフィードバックとふりかえりは、期末考査後の授業で行った。また、期末考査は実施していない。

生徒たちに対して与えた課題は以下である。

「あなたは、『源氏物語』を原作とした映画を制作しようとしているプロデューサーです。キャストやスポンサーに、「是非この映画に出演したい。」「是非この映画に出資したい。」と思ってもらえるような、企画を立案し、プレゼンテーションをおこなってください。」

物語の概要、魅力、人物像をそれぞれ読み取って、その物語を全く知らない相手に対してきちんと伝えるという高度なパフォーマンスを求めたが、どの生徒も積極的に取り組んでいた。キャストを決めるにあたって、必ずその根拠となる場面やエピソードを紹介するように条件をつけ、しっかりと人物像を読み込ませるようにした。それによって、人物像だけでなく人物が物語中で感じたであろう心情についても読み取ったり想像したりしようとする力が付くことも期待した。生徒のふりかえりでは、「1000年も昔の話でも今と変わらない人の感情があることがわかった」というように、人の心情の普遍性への気付き、古典作品への親近感などを挙げているものも多くあった。

勉強が苦手な生徒たちであるが、一人ではできなくても誰かと協力すれば達成できるという経験によって、人と協働するためのスキルを身につけ、かつ自信につなげてほしいと考えた。

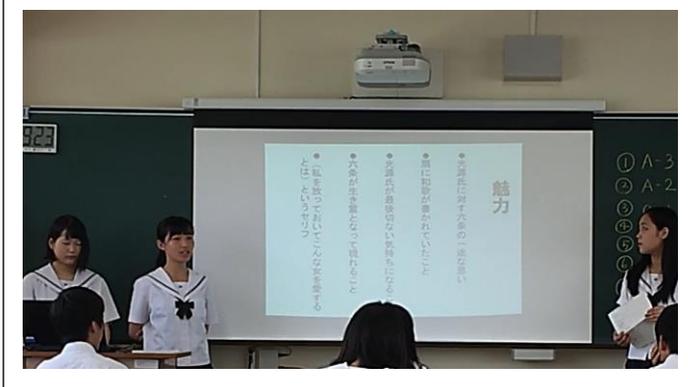
## 授業改善のアプローチ

反省としては、プレゼン実施者が「プロデューサー」、聴き手が「キャスト」や「スポンサー」という設定を活かしきれなかった点がある。もっとそれぞれの役になりきって発表できるような発表会を設定してやれば、いかに聴かせるか多様な工夫が見られたことと思う。

## 単元のヤマ場となる授業場面

どちらもプレゼン発表している様子である。著作権の都合上掲載できないが、物語の要約やキャストの紹介プレゼンでは、イラスト画像や俳優の写真を用いて、魅力的なスライドを作成していた。

「夕顔」の「魅力」についてのプレゼン



「車争い」の要約についてのプレゼン



## 評価

期末考査は実施せず、全て活動と成果物で古典の三観点（Ⅰ関心・意欲・態度 Ⅳ読む能力 Ⅴ知識・理解）を用いて評価を行った。プレゼン用のパワーポイントと発表原稿はグループでの評価としたが、それまでのプリントや発表については、個人の評価とした。

授業時間ごとの取り組み方についても評価し、居眠りや活動への不参加、私語については減点した。

### 生徒 PPT 例（車争い）

葵よりも年齢が高く、前の 皇太子の妻だったので、前 イドが高い	《根拠》	い途に思う六条を演じてほし 《理由》	ブ ラ イ ド が 高 く 、 源 氏 を 一	<b>写真</b>	六条御息所
---------------------------------------	------	-----------------------	--	-----------	-------

### 生徒 PPT 例（夕顔）

章段の魅力
・自分の想いを歌に載せて送る趣のある表現
・3人の女性から感じられるそれぞれ違う 源氏への深い愛
・互いに想い合う関係にあった女性と一緒になれ なかった光源氏の悲しみ
<b>↓</b>
「もののあはれ」